

関東サイエンスツアーのしおり

2018年8月29日～31日

兵庫県立神戸高等学校

()年 ()組 ()番 氏名()

目次

●参加者名簿.....	- 2 -
●旅程表.....	- 3 -
●初日・最終日の移動.....	- 4 -
.1. 移動班の名簿.....	- 4 -
.2. 移動班のルール.....	- 4 -
.3. 新幹線の割当席.....	- 4 -
.4. 新幹線の乗車順・乗車時の注意事項.....	- 4 -
.5. 貸切バスについて.....	- 5 -
●東京大学(食事・見学).....	- 6 -
.1. 東京大学本郷キャンパス.....	- 6 -
.2. 本郷キャンパスの紹介.....	- 6 -
.3. 東京大学医科学研究所の日程.....	- 7 -
.4. 東京大学医科学研究所・研究室見学の班編成.....	- 7 -
.5. 医科学研究所見学時の注意事項.....	- 7 -
.6. 白金キャンパスマップ(参考).....	- 8 -
●宿泊.....	- 9 -
.1. 宿泊施設のデータ.....	- 9 -
.2. 部屋割.....	- 9 -
.3. 宿舎周辺地図.....	- 10 -
●研修センターでの予定(1日目～2日目).....	- 10 -
8月29日(水).....	- 10 -
8月30日(木).....	- 10 -
●筑波の研究所における班別実習.....	- 10 -
.1. 班編成.....	- 10 -
.2. 実習場所ごとの出発時間・実習時間.....	- 11 -
●研修センターでの予定(2日目～3日目).....	- 12 -
8月30日(木).....	- 12 -
8月31日(金).....	- 12 -
●日本科学未来館での実習・見学.....	- 13 -
.1. 日本科学未来館での日程.....	- 13 -
.2. 日本科学未来館の班編成.....	- 13 -
.3. 午前：実習.....	- 13 -
.4. 昼食(弁当).....	- 13 -
.5. 午後：自由見学.....	- 13 -
●帰路の予定(31日).....	- 14 -
●ツアー後の学習について.....	- 14 -
.1. 提出物(課題).....	- 14 -
.2. 課題の提出締め切り日・提出方法.....	- 14 -
.3. 課題に関する質問の方法.....	- 14 -
.4. 課題のファイルサイズに関する注意点.....	- 14 -
.5. 東大・筑波レポートの書式・要領.....	- 15 -
●その他.....	- 16 -

■ 参加者名簿

- 44名 生徒40名(1年：女子9名・男子31名), 引率4名

{情報削除}

※ 班長は、**背景色黄色**で示した。しっかり覚えて、確実に行動を！

新神戸駅での並び方(移動班はしおりの4ページ参照)

整列開始(7:10頃から) ↓

集合・整列の要領

- ① T付近に移動班**移動班班長**を先頭に1列で整列し、
- ② 移動班**班長**は、 Tからしおり等を受け取って
班員に配布しつつ班員を確認し、
- ③ 移動班**班長**は、 Tに出欠を報告。

整列後しおり等受け取り ↓

	13班
	14班
	15班
T	16班
T	17班
	18班
	19班
	20班

7:20集合(点呼完了), 挨拶・連絡開始

7:20-7:30 挨拶・連絡 7:30-7:40 予備時間(葉確認) 7:40移動開始(最後尾ホーム着7:47) 発車7:56

■ 旅程表

注意事項

- 行程を完全把握せよ。
- 全て**班単位**で行動せよ。
- 下車時、ゴミ・忘れ物の確認を怠るな。
- 移動中に列を長くしない(間隔をあけない)。

月日(曜)	行 程
8/29 (水)	<p>【新幹線 ⇒ 貸切バス】</p> <p>出発 乗換 東大到着 ←何をするか 新神戸 (のぞみ112号) 東京 貸切バス(素早く荷物積込) 本郷キャンパス ←どこで 7:56……(14号車)……10:43…11:10……11:40…… ←いつ</p> <p>本郷キャンパス訪問/写真撮影・昼食・見学・散策 点呼完了 出発 ←何をするか (東大本郷キャンパス 11:40~13:40) (貸切バス内) ←どこで 11:40……13:40……13:45…… ←いつ</p> <p>到着 医科学研究所・河岡研究室訪問 見学終了 食事 出発 (貸切バス) (白金キャンパス14:30~18:00) ……14:20……14:30……17:00……18:00……</p> <p>宿舎に到着 ミーティング 風呂等 以下、略 ←何をするか (貸切バス) (筑波研修センター) ←どこで ……20:10……20:20……20:50…… ←いつ</p>
8/30 (木)	<p>【B農研機構：タクシー2台ずつ(計4台)】</p> <p>①畜産・果樹コース B 宿舎 —— 畜産研究部門 —— 産学連携支援センター食堂 —— <生徒5名+引率1名> 8:20……9:00……11:50(移動)……12:00(昼食 12:55まで)……</p> <p>(B①続) —— 同 食堂 —— 果樹茶業研究部門 —— 宿舎 <生徒5名+引率1名> ……12:55(移動)……13:10……16:00……16:45</p> <p>②鳥獣害・農業環境コース B 宿舎 —— 中央農業研究 —— 産学連携支援センター食堂 —— <生徒5名+引率1名> 8:20……9:00……11:50(移動)……12:00(昼食 12:55まで)……</p> <p>(B②続) —— 同 食堂 —— 農業環境変動研究 —— 宿舎 <生徒5名+引率1名> ……12:55(移動)……13:10……16:00……16:45</p> <p>【C高エネ研：マイクロバス1台】 C 宿舎 —— 高エネルギー加速器研究機構 —— 宿舎 <生徒15名+引率1名> 8:30……9:00……16:00……16:45</p> <p>【A物質材料：マイクロバス1台】 A 宿舎 —— 物質・材料研究機構(3施設) —— 宿舎 <生徒15名+引率1名> 8:40……9:00……16:00……16:40</p>
8/31 (金)	<p>【貸切バス ⇒ 新幹線】</p> <p>出発 到着 未来館/実習 ⇒ 昼食 ⇒ 見学 点呼完了 出発 ←何をするか (宿舎) (バス) (日本科学未来館 10:15~15:00) (移動, バス乗車) ←どこで 7:45……10:15……10:30…12:30…13:00…15:00……15:15…… ←いつ</p> <p>乗換 トイレ等 集合完了 出発 到着 あいさつ等⇒解散 (品川駅 15:50~16:30) (ホームへ) (のぞみ191号) (新神戸) (1F) 15:45……16:30……16:47……19:28……20:00</p>

備考
{情報削除}

■ 初日・最終日の移動

1. 移動班の名簿

右表の通り。

注意事項

- 移動時は単独で行動しない。
- 新幹線の乗降は迅速に行う。

2. 移動班のルール

- 初日と最終日(8/29, 8/31)は、移動班(13班~20班)単位の行動が基本。新幹線やバス内に加えて、帰路の買物、バスの途中休憩時等で、班内で常に連絡を取りあいながら行動することを心がける(単独行動は避ける)。移動班班長が確実に班員を把握できるように協力し合うことが大切。
- 移動班の**班長(背景黄色)**は班員の状況を常に把握し、速やかに教師(先生)に連絡すること。
- **班員**はお互いに全員の所在を確認しあい、乗降時など、班長を助けること。
- 新幹線では、特に**乗降を迅速**に行いつつ、すばやく班員が確認できることが大切。そのためにも、乗車直後と下車前は指定の座席を使用する。
- 新幹線は、往路・復路ともに**14号車**である。

←博多													東京→		
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯

3. 新幹線の割当席

- 新幹線座席表の図(右下)において、丸付き数字は移動班の番号を表す。青字は男子、赤字は女子。班番号と座席の番号が似た数字になるように番号を割り振ってある。
- A~Eはスムーズな着席のためであり、班内での変更は可。
- 他の乗客に迷惑をかけないように、十分に気配りせよ。

4. 新幹線の乗車順・乗車時の注意事項

往路(新神戸⇒東京)

- 13号車側(西側)入口からは、先生、⑮班、⑭班、⑬班、先生の順で乗車。
- 15号車側(東側)入口からは、先生、⑯班、⑰班、⑱班、⑳班、の順で乗車。ただし⑲⑳班は、

15号車西側入口に人がいなければ、の指示で15号車から乗車して14号車に移動。

新幹線座席表															
往路															
14号車															

往路	のぞみ 112号
8月 29日	神戸 → 東京
	7:56 発 10:43 着
生徒 40名	+ 先生 4名分 座席

- 乗車後はすばやく座席に移動(座らなくてもよい)して、**通路を確保**(通れるように)。
- 乗車時、**班長**が先頭。班員をテキパキと座席に誘導して、**通路をあける**こと。

←博多													→東京												
1E	2E	3E	4E	5E	6E	7E	8E	9E	10E	11E	12E	13E	14E	15E	16E	17E	18E	19E	20E						
												13	14	15	16	17	19	19	20						
1D	2D	3D	4D	5D	6D	7D	8D	9D	10D	11D	12D	13D	14D	15D	16D	17D	18D	19D	20D						
											教師	13	14	15	16	17	19	19	20						
1C	2C	3C	4C	5C	6C	7C	8C	9C	10C	11C	12C	13C	14C	15C	16C	17C	18C	19C	20C						
											教師	13	14	15	16	17	18	18	20						
1B	2B	3B	4B	5B	6B	7B	8B	9B	10B	11B	12B	13B	14B	15B	16B	17B	18B	19B	20B						
											教師	13	14	15	16	17	18	18	20						
1A	2A	3A	4A	5A	6A	7A	8A	9A	10A	11A	12A	13A	14A	15A	16A	17A	18A	19A	20A						
											教師	13	14	15	16	17	18	18	20						

{情報削除}

- 班内では速やかに座席に入れる(通路に留まらない)順番で乗車。
- 乗車直後は指定の座席に座る。その後、班内で移動してもよいが、他の乗客の迷惑にならないように静かに過ごすこと。
- **下車時**は1カ所(東側)から下車(終着なので)。先頭は 先生、以下⑳⑱…⑭⑬、最後尾は 先生。
- 乗車時、下車時ともに、すばやく行動することが大切。また、**下車後も間隔をあげずに続け!**
- 下車後のトイレは東京駅の八重洲南口階段降りてすぐ(立ち寄り可能性高い)。その後90度回って次の階段へ行くが、トイレ待ちする場所が狭いので、他者の通行を妨げないように待機せよ。

注意事項：新幹線車内で…

- 他の多くの乗客は仕事であることを理解し、**大声は厳禁**。
- 声以外にも、着席後のマナー!!

復路(品川⇒新神戸)

新幹線座席表		復路		のぞみ 191号	
復路		品川 → 新神戸		8月 31日	
14号車		16:47 発		19:28 着	
生徒 40名		+ 先生 4名		分 座 席	

- 2カ所に分かれて乗車する。13号車側(西側)入口からは、先生、⑬班、⑳班、先生の順に乗車。
- 15号車側(東側)入口から 先生、⑭班、⑮班、⑯班、⑰班、⑱班、順に乗車。ただし⑱⑲班の一部の生徒は、15号車西側入口に人がいなければ、指示で15号車から入って14号車に移動。

←博多→											←東京→									
1E	2E	3E	4E	5E	6E	7E	8E	9E	10E	11E	12E	13E	14E	15E	16E	17E	18E	19E	20E	
1D	2D	3D	4D	5D	6D	7D	8D	9D	10D	11D	12D	13D	14D	15D	16D	17D	18D	19D	20D	
											12C	13C	14C	15C	16C	17C	18C	19C	20C	
											12B	13B	14B	15B	16B	17B	18B	19B	20B	
											12A	13A	14A	15A	16A	17A	18A	19A	20A	

- **下車時**は乗車時の逆だが、13号車側(西側)からは、⑳班、⑬班、⑭班、先生の順に下車。15号車側(東側)からは、先生、⑱and⑱班、⑰班、⑯班、⑮班、先生の順に下車し、そのまま改札を抜けて1階に降り、初日の集合場所に移動する。 が先頭、改札で乗車券提示のため一旦停止あり。

5. 貸切バスについて

初日の「東京駅⇒東京大学本郷キャンパス⇒東京大学医科学研究所⇒筑波研修センター」、最終日の「筑波研修センター⇒日本科学未来館⇒品川駅」は貸切バスを利用する。座席は、下図のとおりとする。

- バスの乗車に時間がかからないこと。確実な点呼かつ点呼時間短縮のために、全員が協力を。
- 東大で必要な荷物や折り畳み傘等は、あらかじめ(新幹線車内で)手持ちのカバンにまとめておこう。東大本郷キャンパスや医科学研究所の到着時に、**バス床下から荷物を取り出すことはできるだけ避ける**。
- **班単位**での座席変更は、班長同士が事前に相談して 先生の許可を得たなら可とする。なお、車酔いしそうな者がいれば、優先して座席を変更する。該当者は事前に教師に告げるとよい。
- 必ずシートベルトを着用せよ。

赤数字：女子	運転席	4	8	12	16	20	24	28	32	36	40	44	49
		3	7	11	15	19	23	27	31	35	39	43	48
青数字：男子													47
													20
灰色：教員、 緊急用		2	6	10	14	18	22	26	30	34	38	42	46
		1	5	9	13	17	21	25	29	33	37	41	45
	出入口												

※ 移動班**班長**は、速やかに点呼して、結果を 先生に報告すること。

■ 東京大学(食事・見学)

1. 東京大学本郷キャンパス

本郷キャンパスや医科学研究所で必要な荷物は、自宅で、あらかじめ小さなカバンにまとめてあればよいが、そうでなければ、例えば新幹線乗車中に入れ替えておくといよい。つまりバス床下の荷物は、できるだけ、宿舎につくまでは出さずに済むようにしたい。出し入れに運転手さんの手伝いが必要であったり時間がかかってしまうから。荷物の一部は、貴重品でなければ座席や棚に置いたままにして見学すればよい。

下記③からは**本郷散策班**単位で行動する。東大生は案内に集中しなければならないし、本校生と初対面なので、全員の所在は本郷散策班**班長**が確認すること。そして、全員が確実に団体行動せよ。観光ではない。

① 東京駅からバスで移動⇒大きな荷物はバスにおいて下車。ただし、貴重品の管理は確実に！

② 大講堂(安田講堂)を背景にして記念撮影。

③ 6人の東大生の指示に従いながら本郷散策班単位で、昼食(席を確保⇒荷物を見張りつつ食券購入⇒食事)、キャンパスの散策・見学を行う。

④ 本郷散策班毎に見学終了後は、赤門付近で**班長**が中心になって全員で案内してくれた東大生に挨拶して解散。バス乗車時に、**班長**は先生に班名を報告。13:40にバス内で集合完了をめざす。

⑤ 13:45 バス出発。

注意事項

- 昼食時後や移動時に忘れ物や盗難被害にあわないように、**散策班**内で役割分担する等により確実な荷物の管理を。

{情報削除}

2. 本郷キャンパスの紹介

次の①～④は、右図の数値と一致する。

① 安田講堂

東大生でも講堂には減多に入れないが、半地下部の第二購買部や中央食堂は学生生活に欠かせない。

② 三四郎池

キャンパス内で最も自然が感じられ、落ち着く所。

③ 赤門

正式名称「旧加賀藩屋敷御守殿門」。国の重要文化財。写真を撮るならば、キャンパス見学後に。

④ コミュニケーションセンター

赤門のすぐ近く。大学での研究成果の資料展示や、東大のオリジナル商品を販売している。



その他の情報

東京大学総合研究博物館は、常設展示「UMUTオープンラボー太陽系から人類へ」や特別展示「昆虫標本」等がある。「健康と医学の博物館」は残念ながら移転工事で休館中。普段でも12時～13時は閉館。

3. 東京大学医科学研究所の日程

- 13:45 赤門付近出発(点呼完了13:40)
首都高速利用して14:20頃到着できるか・・・。
- 14:30 白金キャンパス1号館前集合
(見学担当者到着までバスで待機)。
- 14:30～17:00 4班に分かれて、見学・実習
(大まかに14:30-15:10-15:50-16:30-17:10)。
- 17:00～17:30 実習を早く終えた班から白金ホール食堂部で夕食。食堂混雑時、短時間キャンパス散策可。
(散策可能な場所、遵守。白金ホール購買部への立ち入り・物品購入も可)
- 17:25～17:55 入れ替わって夕食。早く食事を終えた班も、短時間の散策可。余裕をもってバスへ移動。
見学・実習完了が17:20頃にずれ込む可能性あり。その場合、食堂は混むが、我慢!
- 18:00 バスで点呼完了、宿舎(筑波研修センター)へ出発(途中、トイレ休憩1回)
- 20:10頃 筑波研修センターに到着見込み。



{情報削除}

4. 東京大学医科学研究所・研究室見学の班編成

右図のとおり。**黄色の背景**は班長。

5. 医科学研究所見学時の注意事項

- 研究室には、貴重で高価な機器が所狭しと置かれている。不注意で落としたり壊したりしないように、注意深い行動を。
- 全員で行動している場合は9組の**委員長**か**副委員長**が、班別行動時は各班の**班長**が、指示をされなくても必要と判断したら、お礼のあいさつや号令をかけること。

以下、医科学研究所からの注意事項。よく読んで遵守すること!

- 1) 案内者の指示には必ずしたがって下さい。
- 2) 許可された区域以外へは立ち入らないで下さい。
- 3) 許可なく周囲のものに手を触れないで下さい。
- 4) 動きやすい、汚れてもかまわない服装で参加して下さい。
- 5) 見学中の飲食は禁止です。
- 6) 危険ですので研究所内でふざけたり騒いだりしないで下さい。
- 7) 病院が併設されており患者さんがいます。 研究所敷地内では静粛にして下さい。
- 8) ゴミは各自で持ち帰って下さい。
- 9) 何かあった時は躊躇せず、すぐに案内者に報告して下さい。
- 10) 案内者が危険と判断した場合は、見学を中止することがあります。
- 11) 写真を撮りたい場合は案内者に声をかけて下さい。

※ 当日撮影した写真はレポートには使用して構いませんが、インスタグラム、ブログ、ツイッターなどに載せないで下さい。

6. 白金キャンパスマップ(参考)

東京大学医学研究所
散策マップ

危険! 車道と歩道が分離していない場所があります。車に気をつけて散策してください。

- 散策可能な通路です
- 散策可能な緑地帯です
- ③④ 立入可能な建物です

※左記以外の領域や建物への立入は禁止です
※ゴミはお持ち帰りください
※構内は駐車禁止です
※構内禁煙です

1 1号館
守衛室 (1号館正面玄関入って左手)
※緊急時以外の対応はできません

2 病院棟

3 白金ホール (1F: 購買・食堂)
購買 10:00-18:00
食堂 11:00-20:00
(平日のみ営業)

4 近代医学記念館
記念館 10:00-17:00 (月曜休館)
カフェ 11:30-13:30 (LO 13:00 / 水・木のみ営業)

5 正門

6 近代医学の道 (ベンチ付遊歩道)

7 近代医学の道 (ベンチ付遊歩道)

8 近代医学の道 (ベンチ付遊歩道)

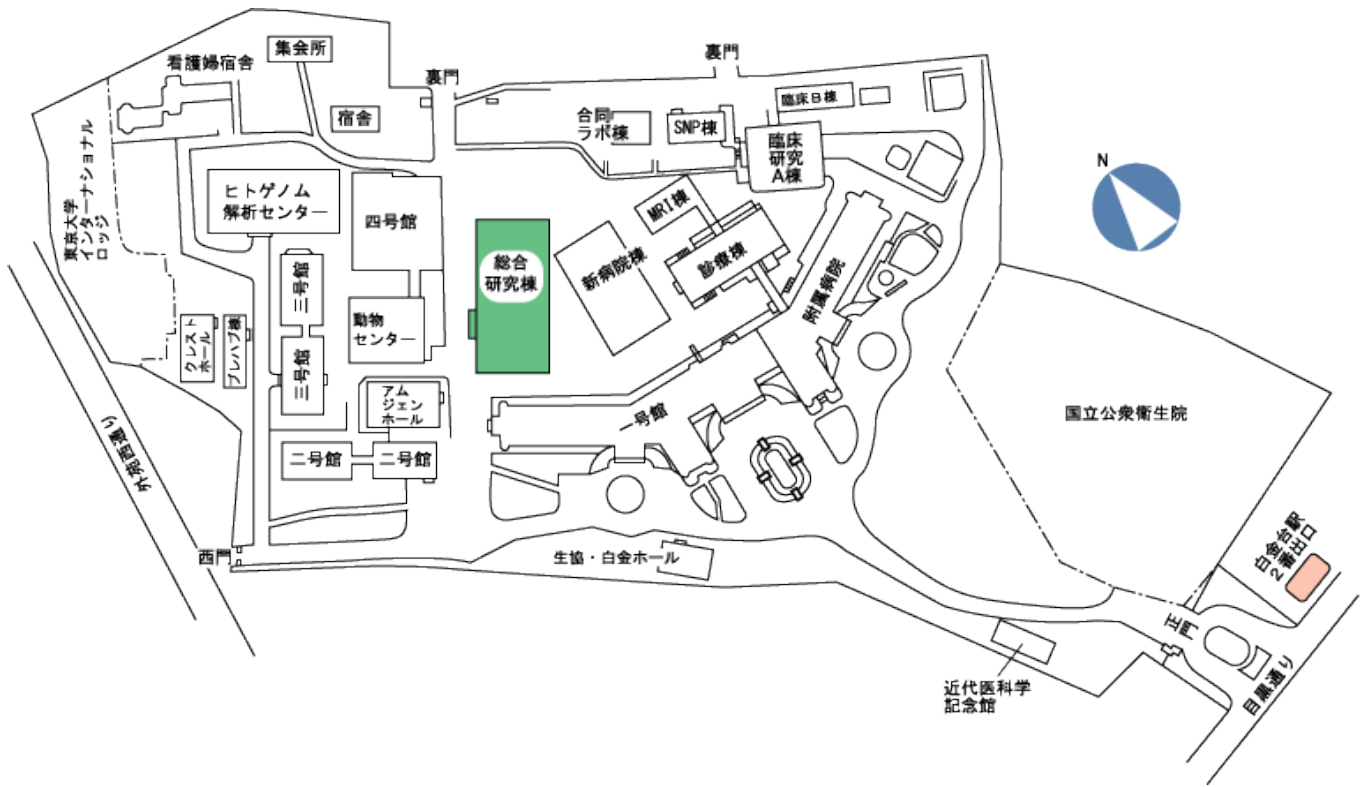
9 西門

10 動物慰霊碑

11 旧公衆衛生院舎

12 地下鉄・白金台駅 (2番出口)

★ 屋台村出店場所
おおよそ 11:15-13:45 (平日のみ営業)



■ 宿泊

1. 宿泊施設のデータ

- (財)筑波学都資金財団筑波研修センター

h

- 洋室(シングル)

レンタルバスタオル 100円

フェイスタオル販売 200円

歯磨きセット販売 200円

注意事項

- 貴重品の管理
- 荷物の整理整頓
- 来た時よりも美しく

2. 部屋割

- 「来た時よりも美しく」を心がけること。
- 各自、忘れ物のチェックや清掃を確実に！
くつろぐための旅館ではなく**研修センター**だと認識を！
- **背景黄色**が宿泊班の班長。他の宿泊者の迷惑にならないように、班員を統率すること。
- 班長だけではなく、全員が自覚して、スムーズに団体行動ができるように協力し合おう。例えば「班員が朝食に遅刻」すると、本校生が迷惑するだけでなく、本校の食事終了が遅れれば、他の宿泊者の食事開始時間まで遅らせることになる。
- **班長**は、チェックアウト時に班員の部屋を最終確認する。
- トイレは、1・3・5階が男子、2・4階が女子。

下図(↓)自分が所属する班の、班員の部屋に目印をつけよう。

宿泊棟(シングル4階)

非常口	
402	401
404	403
406	405
408	407
410	409
412	411
413	自炊室
414	洗面所
415	
416	女子トイレ
※ 417	階段
418	エレベーター
420	419
422	421
※ 424	423
426	425
428	427
430	429

4階417～429号室

8部屋

6部屋

宿泊棟(シングル5階)

非常口	
502	※ 501
504	503
506	505
508	507
510	509
512	511
513	自炊室
514	洗面所
515	
516	男子トイレ
517	階段
※ 518	エレベーター
520	519
522	521
524	523
526	525
528	527
530	529

5階501～529号室

28部屋

12部屋

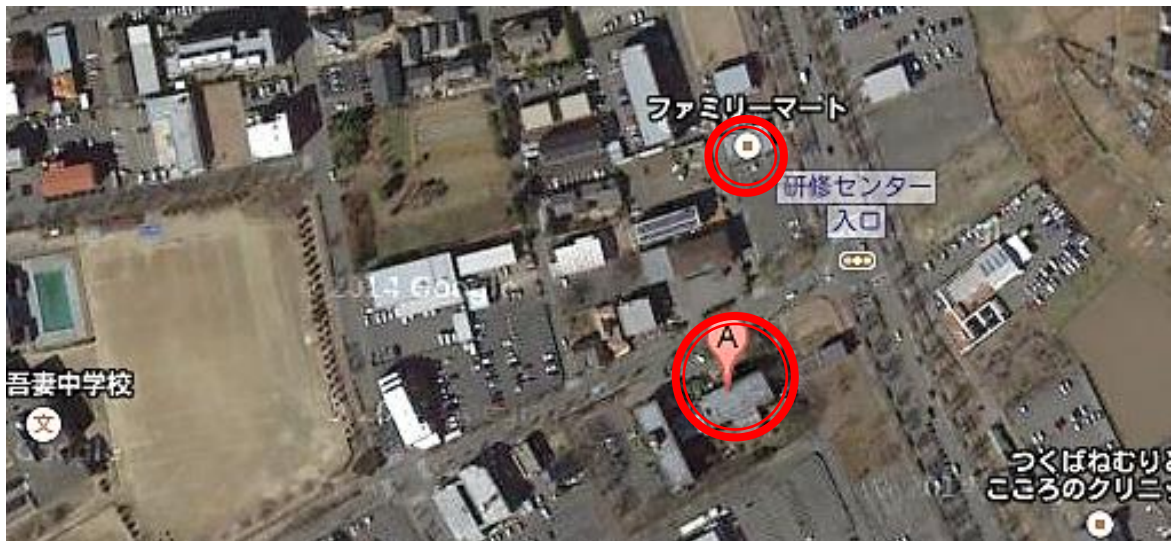
{情報削除}

3. 宿舎周辺地図

必要が生じて外出する場合は、① 宿泊班の班長に外出先とおよその帰宅時間を告げ、② 複数で、行動すること。門限は22時とする。

班長は、班員が全員揃っているか確認し、**22時30分にロビーで待機している** 先生に報告すること。

- 班員は、班長が班員全員の状況を把握できるように協力を！
- 単独での外出は禁止。



※ 近くにファミリーマートがあるが、交通・他者とのトラブル等、十分に気を付けること。

注意事項: 時間の余裕があまりない。

- 時間厳守。全体が、ひとりの影響を強く受ける。
- 特に集合は余裕をもって。「5分前」を心がけよう。
- 他生徒の部屋に入らない（ひとりで効率よく研修）。

■ 研修センターでの予定(1日目～2日目)

8月29日(水)

- 20:10頃 筑波研修センター着。
すぐに第2研修室(食堂がある棟の2階)へ。
- 20:20頃～ ミーティング。その後、部屋の鍵を受け取ったら、各自の部屋へ。
- 20:50頃～ 部屋では荷物の整理・初日の研修のまとめ等を行う。
入浴(22:30までに完了)
- 22:30 就寝準備。宿泊班**班長**は班員を確認してロビーで待つ 先生に報告。
- 23:00 就寝

8月30日(木)

- 07:15までには 起床(絶対に寝過ぎさない!)。
宿泊班**班長**は、7:20までに班員が起床していることを確認する。
- 07:30～ 朝食・・・宿泊班**班長**は班員がそろったら教師(先生)に報告⇒食事開始。

注意事項:

- 2日目の夜、班別の発表あり。
- 2班以上に分かれた場合、発表内容を分担してから発表資料を作成すること。

■ 筑波の研究所における班別実習

1. 班編成

- **班長**は、自らの判断で号令をかけたり、実習中の役割分担決定時等にリーダーシップを発揮して積極的に行動しつつ、班員の活動も活発化させよう。
- 退所前に**班長のいずれか1名**がお礼のあいさつをすること。
- 筑波実習報告会(発表)では、物質・材料研、農研機構、高エネ加速器研、すべて2班編成(6種類の発表)である。

- 表で、筑波での実習班と報告会での発表班をよく理解しておくこと。
- B:物質研の班長2名は、実習完了後直ちに発表時の役割分担をしておくといよい。
- C:高エネ研では班長が4名である。報告会の準備や発表において、相談していずれかが班長となってもよいが、必ず2名が協力しあうように。

{情報削除}

----- 研究所からの連絡や注意点等(参加者連絡会で説明済) -----

- 農研機構:野外での活動に備えて念のため、暑さ対策・寒さ対策、直射日光対策、飲み物、帽子等。
- 物質・材料研究機構:液体窒素を使う実験では、足元注意。落ち着いた行動を。

注意事項:

- 時間厳守。筆記用具等を持って、出発の5分前にはロビーに。

2. 実習場所ごとの出発時間・実習時間

下記の括弧付時刻表示は、研修センターの出発時刻～各研究所の出発予定時刻である。見学・実習の開始は9:00で、終了は16:00の予定だが、終了が遅れることが多いので、終了後の出発時刻には余裕を持たせてある。

B: 農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構) : タクシー 2 台ずつ計 4 台 (8 : 20~16 : 15)

①畜産・果樹コース AM : 畜産研究部門, PM : ①果樹茶業研究部門 <生徒5名+引率: >
(畜産研究部門)

(果樹茶業研究部門)

②鳥獣害・農業環境コース AM : 中央農業研究, PM : 農業環境変動研究 <生徒5名+引率: >

(中央農業研究センター)

(農環変動研究センター)

C: 高エネルギー加速器研究機構 : マイクロバス 1 台 (8 : 30~16 : 15) <生徒15名+引率: >

A: 物質・材料研究機構 : マイクロバス 1 台 (8 : 40~16 : 15) <生徒15名+引率: >

■ 研修センターでの予定(2日目~3日目)

8月30日(木)

16:45頃~ 班毎に報告プレゼン準備。(大浴場は17:00から使用可能。各班で計画を)。

18時~ 第1研修室が使用可能になり次第、研修室で班毎に報告プレゼン準備を。

18:30 夕食(食前点呼は宿泊班ではなく研究所の**見学・実習班班長**が行って先生に報告。食べ終わった者から順次プレゼン準備を続けてよい)

19:45 第1研修室着席完了。

19:45 筑波実習報告会(約1時間)。
発表4分30秒~5分+質疑2分以内+交代・準備30秒以内をめざして)

発表者の第一声で計測を開始し、4分で1鈴、5分で2鈴(発表終了)、7分で3鈴(質疑終了・次準備開始)とする。

20:45 翌日の連絡等。

21:00~ 入浴(22:30までに済ませ、本日のまとめ等を各部屋で)

22:30 就寝準備(チェックアウトの準備も)。宿泊班**班長**は班員を確認してロビーで Tに報告。

23:00 就寝。

8月31日(金)

06:30 起床、部屋の掃除、チェックアウトの準備。

06:45 朝食(前日の朝と同じ要領で)。

食べ終えた生徒から部屋を再度点検・確認し、荷物をもってロビーへ。

07:35~ 部屋の鍵をロビーで返却(に手渡す)して、バスに乗車。

07:35~ 宿泊班**班長**は班員の部屋の忘れ物やゴミ等を確認し、4Fは先生に報告、5Fは先生に報告。その後、鍵をロビーで待つ に返却してバスに乗車し、班員を確認。

07:45 チェックアウト手続き完了 → 出発 → (貸切バス 途中1回休憩) → 日本科学未来館へ。

010:10 日本科学未来館到着。その後、急いでトイレ、準備。

7:45 - 7:52	筑波実習報告会開始・諸注意等
7:52 - 7:58	物質 AM 準備30秒,発表5分以内
7:58 - 8:00	質疑 2分
8:00 - 8:06	物質 PM 準備30秒,発表5分以内
8:06 - 8:08	質疑 2分
8:08 - 8:14	農研 ① 準備30秒,発表5分以内
8:14 - 8:16	質疑 2分
8:16 - 8:22	農研 ② 準備30秒,発表5分以内
8:22 - 8:24	質疑 2分
8:24 - 8:30	高工 AM 準備30秒,発表5分以内
8:30 - 8:32	質疑 2分
8:32 - 8:38	高工 PM 準備30秒,発表5分以内
8:38 - 8:40	質疑 2分
8:40 - 8:45	講評・報告会終了
8:45 - 9:00	諸連絡(最終日日程等)

振鈴 : 4分,1分(発表終了),2分(質疑終了)

注意事項:

- 最終日の朝はあわただしいので、**就寝前に荷物整理をすべき!**
- 部屋に忘れ物を残さない。
- ゴミは各階のゴミ置場が望ましいが、置場の状況も見ても判断を。
- 来た時よりも美しく。

■ 日本科学未来館での実習・見学

1. 日本科学未来館での日程

到着時刻がずれる場合あり。当日の指示変更に注意！

10:30～12:30 ワークショップ(7F)「エネルギー」

12:30～13:00 昼食(1F 多目的ルームa)。

13:30～15:00 自由見学(昼食を終えた者から)。館内のスタッフへの質問や対話を通してより深い知識を獲得しながら！ 特別展示(有料)も見学可。

15:05 集合・点呼完了(1F: エスカレーターの近く) ※ 点呼は移動班**班長**が行う。

15:15 バス出発

{情報削除}

2. 日本科学未来館の班編成

右図の通り(6,7人ずつ6班)。

3. 午前：実習

未来館の方のご指導で対話型ワークショップ(グループディスカッション)を行う。

「1主婦」「2環境サークルの代表」は火力発電に関して、「3地元の名士」「4原発立地地域の住民」は原子力発電に関して、「5経済評論家」

「6環境保護団体の職員」は再生可能エネルギーに関して興味・関心が高い、という想定である。例えば、「1主婦」と「2環境サークルの代表」は、火力発電に対してそれぞれ賛成・反対という立場であり、実習の前半はそれぞれの立場の中で議論する。実習の後半では「主婦」と「環境サークルの代表」2つの班で同一の机を囲み、互いの考え方に対してつつこみをいれながら、最終的にはなぜ意見が分かれるのかを考えていくという流れである。

対立意見の背後には「価値観」の違いがある。最適な方向性を決めるために大切なものは何か。多様な意見や価値観が表出したら、いったいどうすれば方向性を見出していけるだろうか。それぞれ、キャラクターになりきって考え、議論していこう。

注意事項:

- 弁当をまちがえない

4. 昼食(弁当)

数量 53:6、54:2、55:22、56:14、57:0(変更不可)。

注意事項:

- 自由見学では活動の記録は必要だが、時間をかけすぎず、見学の量を優先してよい!

5. 午後：自由見学

午後(昼食後)は自由見学であり、単独行動も可。未来館の特徴は、フロアにおおぜいの「科学コミュニケーター」や「展示解説員(ボランティア)」と呼ばれるスタッフが、対話を通して科学を教えてくれることである。冊子「サイエンスツアー提出物」のp12～に記入しながら活動すること。

■ 帰路の予定(31日)

- 15:15 日本科学未来館を出発 →(貸切バス)→ 品川駅。
15:50頃 品川駅着。その後、新幹線改札付近に荷物を置いて自由時間(約40分)。
16:30 集合・点呼完了。16:35頃に新幹線ホームへの改札を通る予定。
16:47 品川駅発(のぞみ191号 14号車)。
19:28 新神戸駅着 1Fに移動して集会後、解散(20:00頃か)。

■ ツアー後の学習について

1. 提出物(課題)

- 東大医科学研究所レポート：ワープロで作成したもの。A4用紙3ページ以上必要。サポートサイトのテンプレートを使うとよい。ファイル名は、例「1942氏名-東大レポート.docx」のようにつける(.docxの部分)を拡張子という。拡張子は自動でつくるので意識しなくてもよい。ほんの一部であっても、他者の作成物を参考にしてはいけない。このレポートは、全員分を東大に提出(CD-R)する。

※ 感謝の気持ちを込めて、充実した内容になるように努力して仕上げよう。

- 筑波研究学園都市の班別実習のレポート：上記東大レポート同様、ワープロで作成したもの。A4用紙3ページ以上必要。レポートは、筑波のそれぞれの研究所に提出(CD-R)する。
- 冊子「関東サイエンスツアー提出物」：表紙のチェックリストに従って内容を確認してから提出する。

注意事項：

図や表等は、本文に関係が深いものに限定すること。図表は本文を補足する内容とし、それらの大きさも適切であること(以前、大きな図や表でページ数を増やそうとして再提出になった生徒あり)。

2. 課題の提出締め切り日・提出方法

- 提出締め切り日：**9月10日(月)** ※ 期限前の提出も可。
- 冊子等(紙媒体の提出物)の提出方法：
 - ・ 委員長が集めて出席順に並べ、総合理学部職員室へ(期限前に提出する場合、個人で直接)。
- 電子ファイル(東大見学のレポート・筑波班別実習のレポート)の提出方法：
 - ・ 下記の連絡用メールアドレスに送信する(添付ファイルとして提出する)。その際、メールのタイトルは「1942氏名-東大レポート提出」のように、誰の何に関するレポートかが分かるようにすること。
 - ・ USBメモリ等に保存して、総合理学部の職員に手渡す(記憶メディアはファイルをコピーした後に返却する)。ファイルサイズが大きすぎると感じたら、メールよりもこの方法がよい。

3. 課題に関する質問の方法

- 関東サイエンスツアーのサポート用掲示板 <http://www.> / にコメント。
- 連絡用メールアドレス @ にメール送信(レポートの提出もここに)。

4. 課題のファイルサイズに関する注意点

- デジタルカメラなどで撮影した写真をワードに貼り付けると、文書のファイルサイズが極端に大きくなる場合がある(大きすぎてメールが届かない場合もあり)。ファイルサイズを小さくするためには、例えばMS-Wordの場合は、貼り付けた写真等の一つを選んでクリックし、次に上方に現れた「書式」タブをクリックすると、左上の方に「図の圧縮」メニューが表示される。「図の圧縮」をクリックして出現した画面(ダイアログボックス)にて「圧縮オプション」の「この図形だけに適用する」のチェックをはずしてから「OK」ボタンを押すことで、ファイルサイズを小さくすることができる。

5. 東大・筑波レポートの書式・要領

- 東大のレポートは、下記の書式で作成すること。サポートサイトにテンプレートをおいたので、ダウンロードして使おう。分量は3ページ以上。大きすぎたり必要とは考えにくい図や写真は、不可。

この用紙の説明を消して使おう（この行を消して題名に！）

---- 必要ならレポート題名の副題（12pt） ----

兵庫県立神戸高等学校 ○年○組○番 神戸 太郎

ここに、東京大学の研究室等の見学レポートのアブストラクト（要約）を記述（明朝 10.5pt）する。

この部分は枠になっていて、隅や下のマークを下方向にドラッグして大きくすることもできる。あるいはこの枠を削除して、直接記入してもよい。やりやすい方法を選ぼう。

この用紙は、サイエンスツアーサポートサイトからダウンロードして使用しよう。

1. 見出し 1（ゴシック 12pt）

1.1. 見出し 2（ゴシック 11pt）

本文（明朝 10.5pt）はここから。

東京大学医科学研究所・河岡研究室での見学や実習について記述する。分量は3ページ以上とする。なお、謝辞や参考文献は必ず3ページ目以降に記述すること（2ページ目までに入るようなら分量が少なすぎる）。文体は常体（である調）とする。レポートはそのまま（手を加えたりせずに）東京大学に送付するので、充実した内容になるように頑張れ！

本文を補足説明するために図や表を用いるとよいが、次の点に留意せよ。

- ・ 図や表は本文を補佐するものであること（つまり本文に説明が必要）
- ・ 研究内容や見学内容に関わるものであること（記念写真のようなものは避ける）
- ・ 図 1：○○○ や、表 1：・・・を図の下や表の上に記入すること

引用する場合は、引用した範囲が特定できるように「」等でくくり、出典を必ず参考文献の欄に記載すること。引用ではない場合でも、本レポート作成に当たって参考にしたものは記載せよ。

ファイル名は、「1942 氏名ー東大レポート.docx」のように、出席番号と氏名を入れること。

タイトル等の例：下記は項目の構成例である。タイトルをそのまま使う必要はなく、むしろ適切なタイトルに変更するほうがよい。

1. はじめに

2. ○○研究室の「○○研究」について

2.1. ○○研究の目的・概要・特徴

2.2. . . .

2.3. ○○研究に関する考察・感想

3. ○○実習について（実習が行われた場合）

3.1. ○○実習の目的

3.2. 方法 . . .

3.3. 考察・感想

4. ○○施設の・・・（注：施設を見学した場合）

4.1. 施設の内容

4.2. 研究との関連やその施設の特徴

5. おわりに

謝辞

[参考文献・参考 URL]

番号に続けて、書籍の場合は、著者名、書名、ページ、出版社、発行年を記述し、Web ページの場合は、Web ページのタイトル、http://から始まる Web ページのアドレス (URL)、閲覧した日付を記述すること。

例：

[1] 東大太郎, 応用化学考察, pp.48-52, 東大図書出版, 2003

- 筑波の班別実習のレポートも、書式・分量・注意点等すべて東大レポートと同様である。実習や見学の内容、実習や見学で得られたことを、論文を書くつもりでしっかりとまとめること。

筑波研究学園都市

題名(題に施設名も入れる) 説明部分を消して使おう

――― 必要ならレポート題名の副題 (12pt) ―――

兵庫県立神戸高等学校 ○年○組○番 神戸 太郎

ここに、本レポートのabstract(要約)を記述(明朝 10.5pt)する。

この用紙は、サイエンスツアーサポートサイトからダウンロードして使用しよう。要約用のこの枠は、隅のマーク等をドラッグすることで行を増やすことも可能。あるいは枠を削除して直接記入してもよい。

筑波研究学園都市のレポートは、書式も工夫を凝らしてよい。もし実習でレポートのようなものを作成した場合は、それに手を加えて論文に仕上げていくのもよい。

1. 見出し 1 (ゴシック 12pt)

1.1. 見出し 2 (ゴシック 11pt)

本文(明朝 10.5pt)はここから。

レポートは、最も印象に残ったことを中心にまとめてもよいが、分量は3ページ以上とする。なお、謝辞や参考文献は必ず3ページ目以降に記述すること(2ページ目までに入ると分量が少なすぎる)。文体は常体(である調)とする。レポートはそのまま(手を加えたりせずに)お世話になった研究施設等に送付するので、充実した内容になるように頑張れ! なお、特に充実した作品は、本人の承諾を得たうえで、文化祭等で展示する場合がある。

できるだけ図や表・写真等を入れよう。このレポートを見た人が施設の内容や特徴を理解し興味を抱きやすいものになるように。図・表・写真等を使う場合は、次の点を心掛けること。

- ・ 本文を補佐するものであること(つまり本文に説明が必要)
- ・ 施設の内容に関わるものであること(記念写真のようなものは避ける)

図1:○○○ や、表1:・・・の書き方や注意点は東大のレポートと同様である。

引用する場合、引用した範囲が特定できるように「」等でくくり、出典を参考文献の欄に記載すること。引用ではない場合でも、本レポート作成に当たって参考にしたものは記載せよ。

ファイル名は、「1942 氏名-筑波(物質材料)レポート.docx」のように、出席番号・氏名・研究所名の一部を入れること。

タイトル等の例:下記は項目の構成例である。タイトルをそのまま使う必要はなく工夫せよ。自由に、自分なりの構成でレポートを作成してよい。

1. はじめに

2. ○○研究所の概要

2.1. 設置目的

2.2. 特徴・特色

3. 展示や実習に関する考察

3.1. ○○装置について

(興味をもった内容や印象に残ったことを中心に。複数ある場合は、本文の中で箇条書きしてから説明を述べるなどの工夫を。興味を持ったことがタイトルにも表現されるとよい。)

3.2. 疑問点・問題点

(単数ならタイトルで疑問点が何かを簡潔に表現し、複数なら本文で箇条書き&説明などの工夫を。)

4. おわりに

謝辞

[参考文献・参考 URL]

参照した文献がある場合。

番号に続けて、書籍の場合は、著者名、書名、ページ、出版社、発行年を記述し、Web ページの場合は、Web ページのタイトル、http://から始まる Web ページのアドレス(URL)、閲覧した日付を記述すること。

例:

[1] 筑波太郎, 学園都市計画考察, pp.48-52, つくば図書出版, 2005

■ その他

- クリップボード:サイエンス入門の校外見学(9月初旬)後の「情報」授業時に返却。

A series of horizontal dashed lines for writing.